

NPO 法人ふくしま 30 年プロジェクト  
第 12 期 2023(令和 5)年度活動事業報告



福島県福島市飯坂町字一本松 11-7

## ごあいさつ

皆様におかれてましては、東日本大震災の被災地ならびに被災者に対し、これまでに多大なご支援をくださりまして、深くお礼申し上げます。

また、日頃から当団体をはじめ福島の子どもたちのための活動にご理解を賜り誠にありがとうございます。

この度、NPO法人ふくしま30年プロジェクトが解散することとなるのお知らせいたしますと共に、最後の事業報告となる本報告書をお送りいたします。十数年間にわたり、多くの方々にご支援をいただき、心から感謝しております。



理事長 佐原 真紀

2011年に活動を開始した私たちは、市民がその時々で持つ放射能への不安に対し、選択ができるような判断材料を提供しようと活動を続けてきました。

福島第一原発事故由来の放射性物質セシウム 137 の半減期は 30 年ということから、30 年は子どもたちの未来を見守っていきたい。

そんな想いから、団体名を「ふくしま30年プロジェクト」と名付けました。

しかしながら、現在の社会情勢や経済状況の変化、そしてメインスタッフの体調変化等、私たちは NPO としての継続的な運営は困難と判断し、残念ながら解散を決断せざるを得なくなりました。

任意団体の期間も含め、13年間の活動に適宜、ご寄付やご協力をいただいた方々には、心より感謝申し上げます。

これまで沢山の困難を乗り越えながらも、多くの方々に対して支援を提供し、成果を上げることができましたのは、皆様方からのご尽力の賜物です。

私たちとともに活動して下さったボランティアやスタッフの皆様にも、深く御礼申し上げます。

しかし、NPO の解散により、これまでの活動が完全に終了するわけではありません。

今後、私たちは個々人とはなりますが、他の組織や団体との連携を通じて、可能な限りの支援活動を続ける考えです。

先の見えにくい混迷の時代を共に生きる皆様との、長きにわたるご縁に感謝し、引き続き、私たちの活動にご興味を持っていただける方々とのつながりを大切にまいります。

最後に、ふくしま30年プロジェクトの活動にご理解とご協力をいただいたすべての皆様に心からの感謝の意を表し、これからも社会貢献を目指し、地域の発展に尽力してまいります。

皆様への心からのお礼を述べたく、あいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。

また、放射能問題に取り組む団体や関係者の皆様にも、これまでのご協力に心から感謝いたします。引き続き、原子力発電所事故や放射能問題に関心を持ち続け、共に解決策を模索していっていただければ幸いです。

「大切な故郷と子どもたちの未来のために」

今後もお互いに連携し、社会の安全と健康に寄与することを願っております。

令和6年 4月

# 活動報告

## ●食品・環境放射能測定

食品・環境放射能測定については、トータル測定数が119件となり、2022（R4）年度と比較するとほぼ3分の2となりました【表1】。測定検体の傾向としては、食品が全体の65%と大部分を占め、残りは土壌が18%、環境が18%、という割合です【表2・図1】。

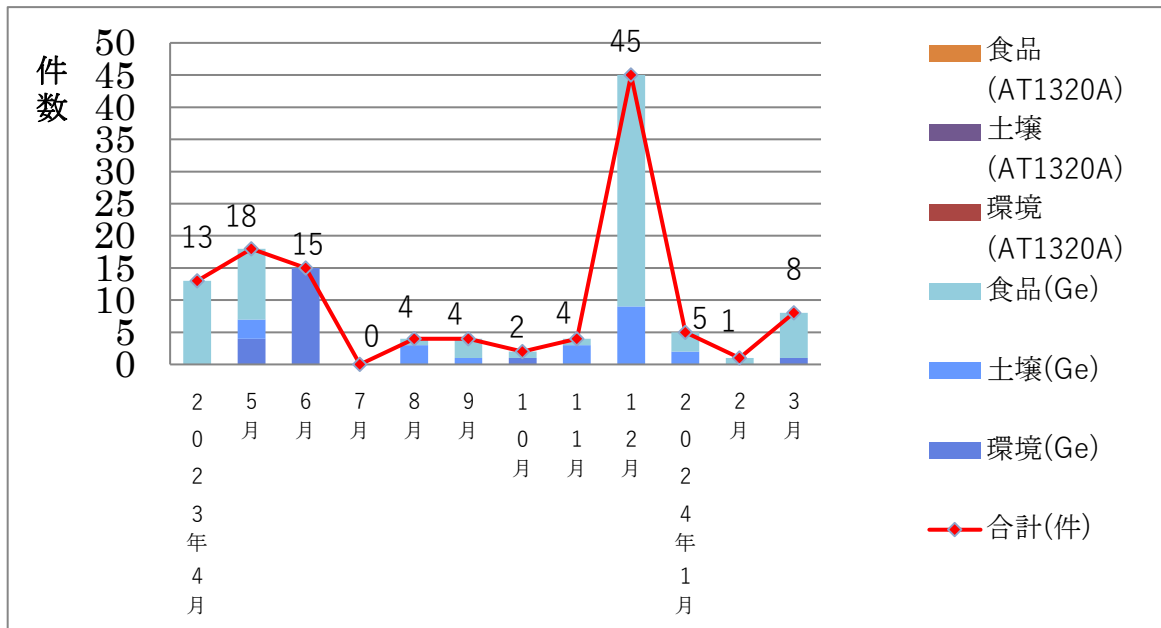
【表1】2013（H25）年度以降の年度別測定件数

2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 H31	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023年 度 R5年度
794	591	661	752	611	335	324	475	441	182	119

【表2】2023（R5）年度食品・環境試料測定件数

	環境 (Ge)	土壌 (Ge)	食品 (Ge)	環境 (AT1320A)	土壌 (AT1320A)	食品 (AT1320A)	合計 (件)
2023年4月	0	0	13	0	0	0	13
5月	4	3	11	0	0	0	18
6月	15	0	0	0	0	0	15
7月	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	3	1	0	0	0	4
9月	0	1	3	0	0	0	4
10月	1	0	1	0	0	0	2
11月	0	3	1	0	0	0	4
12月	0	9	36	0	0	0	45
2024年1月	0	2	3	0	0	0	5
2月	0	0	1	0	0	0	1
3月	1	0	7	0	0	0	8
2023年度計	21	21	77	0	0	0	119
2022年度計	9	17	127	0	0	0	182

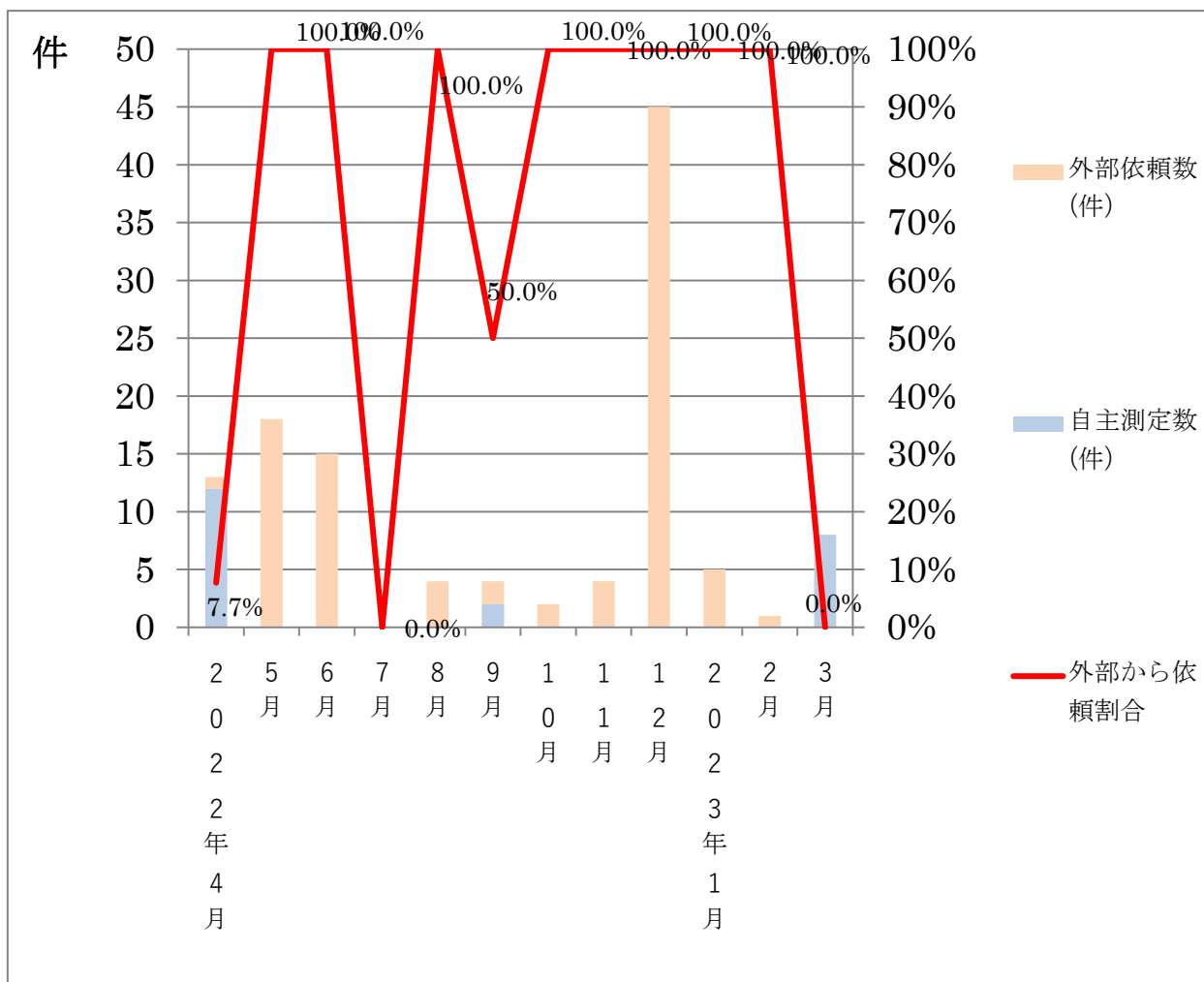
【図 1】2023(R5)年度食品・環境試料測定件数



【表 3】外部からの依頼件数

	全測定数 (件)	外部依頼数 (件)	自主測定数 (件)	外部から 依頼割合	備考(主な依頼者)
2023年4月	13	1	12	7.7%	賛助会員
5月	18	18	0	100.0%	賛助会員、新規依頼(海外からの取材資料)
6月	15	15	0	100.0%	新規依頼(海外からの取材資料)
7月	0	0	0	0%	
8月	4	4	0	100.0%	賛助会員
9月	4	2	2	50.0%	賛助会員
10月	2	2	0	100.0%	賛助会員
11月	4	4	0	100.0%	賛助会員
12月	45	45	0	100.0%	食品製造会社、NPO 法人、 賛助会員
2024年1月	5	5	0	100.0%	賛助会員
2月	1	1	0	100.0%	賛助会員
3月	8	0	8	0%	
合計	119	97	22	81.5%	

【図 2】 外部からの依頼件数



●ホールボディーカウンタ(WBC)測定事業

ホールボディーカウンタ測定については、ありませんでした。

1. 2022（令和4）年度のWBC測定実績

2022（令和4）年度の測定総数は、0名です。

2. WBC校正およびファントム・線源貸出事業

WBCのバックグラウンド校正については行いませんでした。

勉強会及び交流会事業

以下の勉強会、交流会、福島県内の状況を伝える、研修・交流会といった一連の事業の

開催については0件でした。

- 勉強会
- ふくしまくらす交流会
- 福島県内の状況を伝える、研修・交流会

### ●ホットスポットファインダー測定(空間線量マップ化)事業

ホットスポットファインダーでの測定は6件行いました。

NPO 法人ライフケアからの依頼が4件で、郡山市内4ヶ所を測定しました。

残りはNPO 法人青空保育たけの子からの依頼で福島市荒井の「水林自然林」と福島市山口の「小鳥の森」の2件です。

### ●放射線健康管理・健康不安対策事業(放射線モニタリングポスト SNS 座談会)

2022年(令和4年)度からの引き続きの事業として電気通信大学 石垣陽教授より放射線モニタリングポスト SNS 座談会についての参加者募集等を請負いました。

自宅周辺以外で長い時間を過ごす場所である「セカンドプレイス」(職場 保育所)において、放射線の健康影不安に対応するため、当事者(従業員 保護者)や専門家に加えて、事業者を巻き込んだ放射線リスクコミュニケーションを実現するといった主旨です。

今年度は、放射線モニタリングポストのあり方について、福島県内に住む子育て中の保護者と研究者がSNS上で議論をして、理解を深める事業に協力しました。

座談会のなかで、コスト負担、データの利活用、設置運用の在り方、利便性や感情面での配慮といった、実に様々な目線での意見が交わされました。



### ● みんなのデータサイト(市民放射能測定データサイト) <https://minnanods.net/>

参加測定室 全国 24 の放射能測定室

食品・環境データ数 22,115 件(729 件増) (弊法人 4,594 件(76 件増))

土壌データ数 3,749 件(207 件増) (弊法人 395 件(17 件増))

高濃度土壌データ数 133 件（弊法人 17 件）

2024（令和 6）年 3 月 31 日現在

弊法人は、市民による放射能測定データの共有や連携を目指して立ち上げられた『みんなのデータサイト』に参加しています。

2023（令和 5）年度はデータサイトの組織改編（NPO 法人化）の事務作業面を中心に請け負い、運営面での活動を担いました。それ以外に、年度後半からは『「市民放射能測定室の作り方」プロジェクト』という、13 年前に全国に発足した市民放射能測定室（所）の記録を残すというアーカイブ事業のメインスタッフを担っています。

放射能測定関連では、春にたけのこ・山菜の測定プロジェクトに参加し福島第一原発事故による放射能汚染の実態を広範囲に調査しました。

### ●書籍・物品販売・測定器レンタル事業

書籍販売売上 0 円、物品販売売上 0 円、賃貸収入 167,046 円

測定器レンタル利用者数 1 人 600 円

### ●会員数

2023（令和 5）年度末の時点で正会員は 12 名でした、賛助会員は 86 名と少し減少しました。【表 5・図 3】。

【表 5】会員数推移

	正会員 (人・団体)	賛助会員 (人・団体)
2013（H25）年度	16	58
2014（H26）年度	16	116
2015（H27）年度	15	138
2016（H28）年度	15	104
2017（H29）年度	15	92
2018（H30）年度	13	80
2019（H31）年度	13	82
2020（R2）年度	15	94
2021（R3）年度	15	91
2022（R4）年度	12	86



【図3】 会員数推移

